



夜の砂丘館で  
世界を散歩しよう  
night wandering in Sakyukan  
2017

セミナー

# 箸の墓と卑弥呼の時代



塩崎貞夫「箸の墓古墳」1985年 油彩、キャンバス

講師 橋本博文（新潟大学教授・考古学）

「卑弥呼の時代」を中心に、日本古代国家形成過程の問題を古墳時代の墓制だけでなく、豪族居館を含む集落論などを併せて、中国大陸、朝鮮半島を視野に検討している。

\* 箸の墓古墳は奈良県桜井市書中にある古墳、形状は前方後円墳、築造者は高内氏より大市墓（おおいのほち）として第七代孝聖天皇皇女の倭迹迹日百襲姫命の墓とされている。

主催 砂丘館

3/3 [金]

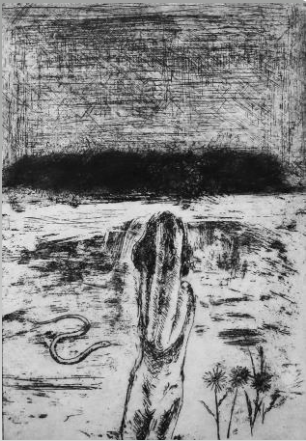
18:30-20:00

定員 30名 参加料 500円

申し込み(2月15日受付開始)

砂丘館 tel./fax 025-222-2676

E-mail sakyukan@bz03.plala.or.jp



塩崎貞夫「題不詳」銅版画

塩崎貞夫展

砂丘館

2/15 [水]-3/20 [月・祝]

9:00-21:00 月曜休館(3/20 開館)

新潟絵屋

3/2 [木]-3/10 [金]

11:00-18:00(最終日-17:00)

新潟市中央区大川前通 10-1864 tel 025-222-6888

砂丘館と新潟絵屋で開催される塩崎貞夫展では、奈良県の箸の墓古墳とその伝説がモチーフになった作品があります。死者と生者のあわいに心を注いだ画家は、卑弥呼の墓とも言われる箸の墓の偉容から靈感を感じとり、象徴的な形象としてのシルエットを白い空間に幾度も描きました。ここに葬られたとされるヤマトトヒモソノヒメには、夫である大物主神の正体が蛇であると知り、恥じた神に去られ陰部に箸を突いて死んだという話が伝えられます。この悲劇の姫を描いた版画も制作しています。箸の墓の近くでは近年王宮跡とも思われる遺跡が発掘されました。魏志倭人伝の邪馬台国の宮殿では、どの推測もなされていません。

砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町5218-1

tel./fax. 025-222-2676

sakyukan@bz03.plala.or.jp

指定管理者:新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体



会場には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用下さい。

- 新潟駅からのバス:浜浦町線 C2系統又は観光循環バス「西大畑坂上」バス停下車徒歩1分
- 新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は、駐車券掲示にて1時間分の無料券を差し上げます。

私たちは砂丘館の自主事業を応援しています。

株式会社 ちのち

新潟ビルサービス

NSGグループ

丸屋本店

株式会社 ナレッジライフ

藤田金属

郷土の文化に親しむ会